

「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

市民意識等アンケート調査結果の概要

現在、国が取り組みを行っている「地方創生」にあたり、芦別市も人口減少の抑制と持続可能なまちづくりを推進するための計画「芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとしました。そこで、この計画策定の基礎資料とするために3種類のアンケート調査を6月に実施しましたので、そのうちの一つ「市民意識アンケート調査の結果概要」についてお知らせします。なお、各アンケートの結果については、詳細がまとめ次第、市ホームページで公開しますので、ぜひご覧ください。

◇アンケートの種類

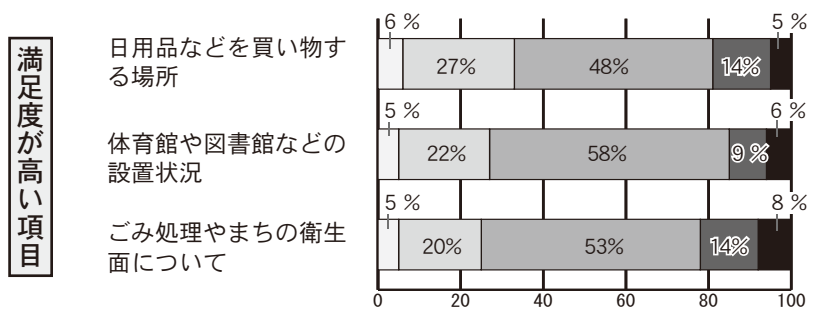
- ◎「市民意識アンケート」＝対象：18歳～69歳、1,000人無作為抽出
- ◎「若年者意識アンケート」＝対象：市内在住の一般に高校に在学している年齢の市民355人
- ◎「事業所アンケート」＝対象：おおむね従業員5人以上の事業所を主体に125事業者
- 回答率：市民 35.5%、若年者 29.9%、事業所 53.6%

1 芦別市での暮らしやすさ

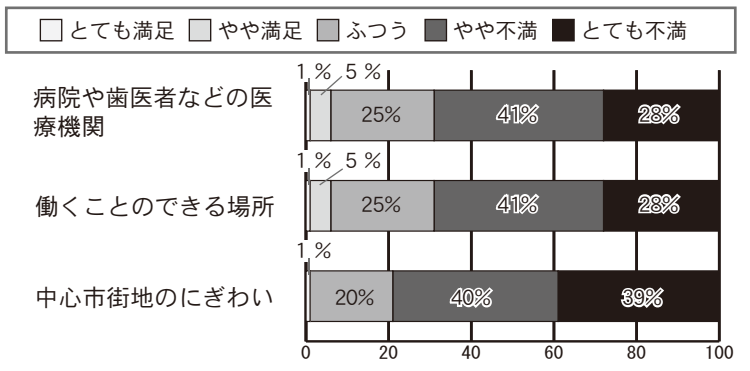
芦別市での暮らしやすさについては、「日用品などを買う場所」「体育館や図書館などの設置状況」「ごみ処理やまちの衛生面」などの満足度が比較的高くなっています。

一方、「中心市街地のにぎわい」「働くことのできる場所」「病院や歯医者などの医療機関」などの項目については不満が特に高く、市街地の活性化、雇用の受け皿の確保、医療・福祉サービスの充実が、住みやすい生活環境の改善のために重要な要素となっています。

暮らしやすさの満足度



不満が高い項目

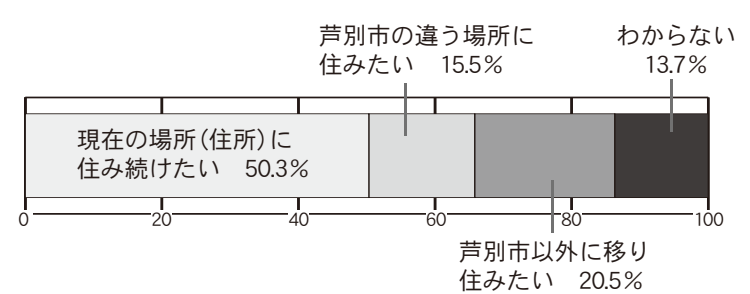


2 芦別市に住み続けたいか

回答者の約66%の人は芦別市に「住み続けたい」と回答しています。

一方で、「芦別市外に移り住みたい」と回答している人は、公共施設・商店等の生活利便性の改善や医療・介護福祉の充実を望んでいます。

芦別市に住み続ける意向

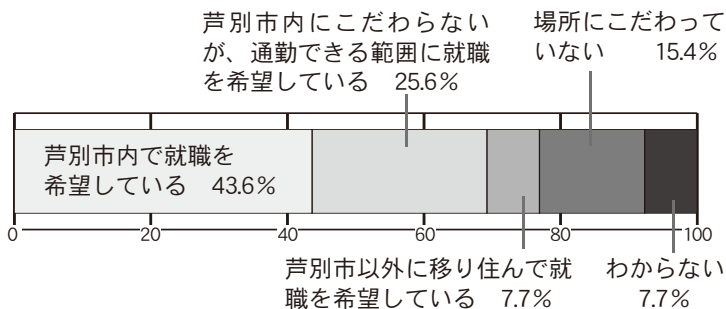


3 芦別市で働きたいか

現在仕事をされていない人のうち、約3割に就業の意向があります。そのうちの約44%の人が芦別市内での就職を希望しています。

また、市内に在住している人のうち、約2割の人は市外で就業しています。

芦別市での就業の意向(現在就業していない方)

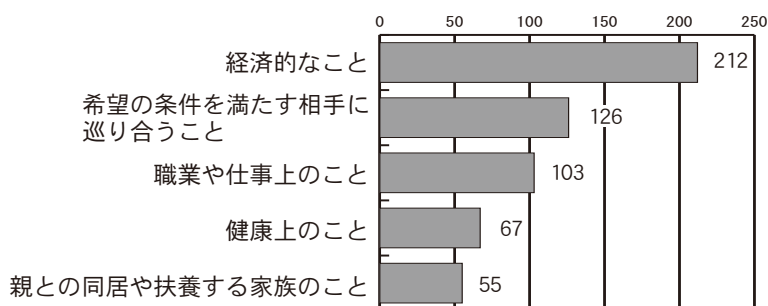


4 結婚・出産・子育てで必要なこと

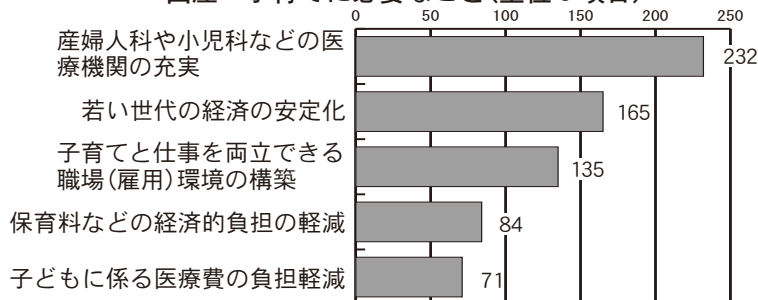
結婚の決断に影響する要因としては、「経済的なこと」「職業や仕事上のこと」などの回答が多く、安定した生活に必要な収入、雇用状況が強く影響していることがうかがえ、また、理想の相手と巡り合う機会の創出が求められています。

一方で、出産・子育てに必要なことは「産婦人科や小児科などの医療機関の充実」「若い世代の経済の安定化」の意見が多く、また、「子育てと仕事を両立できる職場(雇用)環境の構築」との意見も多いため、これらの課題を解決すべく、支援の在り方などを検討していく必要があります。

結婚の決断に影響する要因(上位5項目)



出産・子育てに必要なこと(上位5項目)



アンケートにご協力いただいた市民の皆様にお礼申し上げます。

●アンケートに関するお問い合わせ/まちづくり推進係

市長日記

No. 2

8月6日から18日までの間、市内8か所で9回にわたり、まちづくり懇談会を開催いたしました。

この懇談会は、人口減少の抑制や地域活性化を目的とし、昨年からの国を挙げて取り組む、地方創生に関わり、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定などについて説明を行い、市民の皆さんからご意見をいただくとともに、私が市長に就任してから初めての懇談の機会でありましたので、市政全般についての意見交換を行ったところです。

懇談会では、公共施設の老朽化対策や未利用となっている施設の活用対策、市立芦別病院の診療料の充実、子育て支援、移住・定住の促進等、これからのまちづくりに向け建設的なご意見や、厳しいご意見をたくさんいただきました。

市では、これまでも市民福祉の向上や地域活性化に向け、さまざまな施策を行ってきましたが、これからも市民の皆さんとの情報共有を図りながら、ご理解とご協力をいただき、なお一層の取り組みが必要であると、強く感じたところです。

今後、市民の皆さんが、安心・安全に暮らせるまちづくりを基本としながら、今回いただいたご意見を総合戦略の策定や、市政運営全般に反映できるよう取り組みを進めてまいります。

芦別市長 今野

ひろし